

経営比較分析表（令和3年度決算）

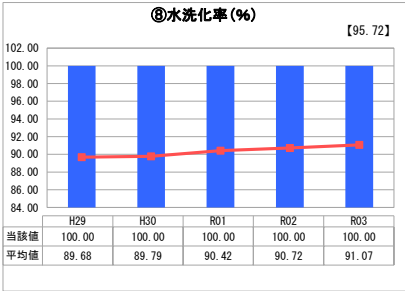
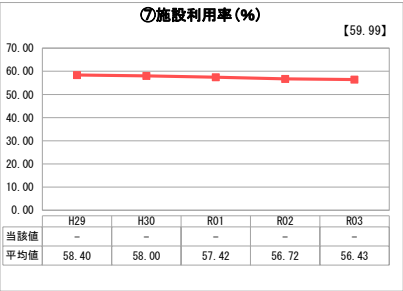
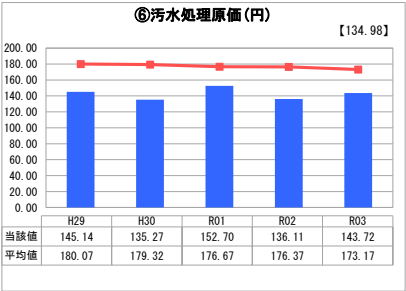
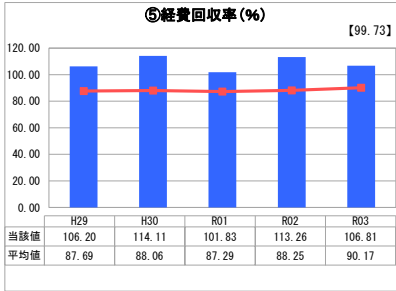
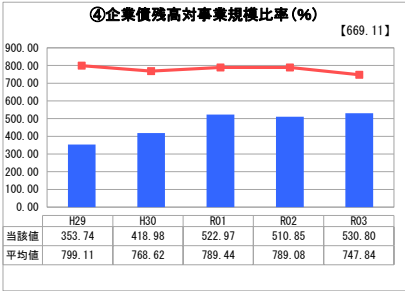
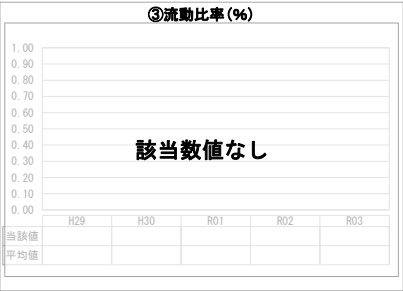
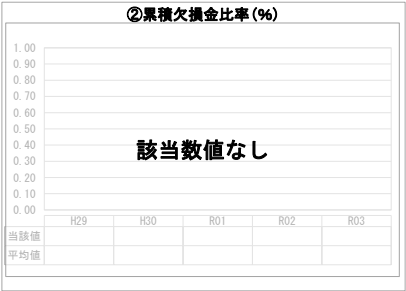
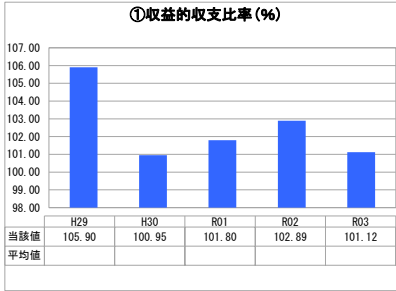
山口県 和木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.54	53.21	2,743

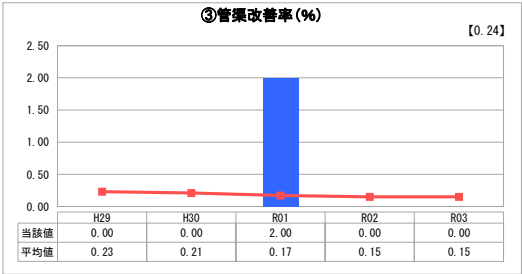
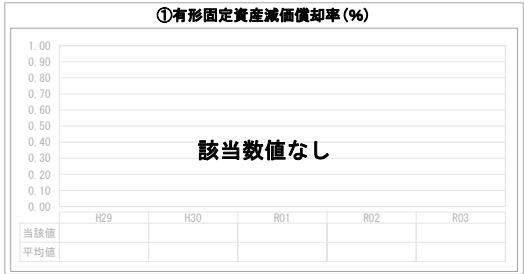
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,076	10.58	574.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,013	1.64	3,666.46

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
一般会計から雨水処理負担金の繰入金を入れている。地方債償還金の大幅な増加とならないよう、平準化に努める。

④企業債残高対給水収益比率
大型事業の実施により起債の償還額が増加する見込みである。今後も、施設改良のため企業債の発行が考えられるので、平準化するように計画的に進めていく。

⑤経費回収比率
使用料で賄えている数字となっているが、令和6年度からは公営企業会計の適用により、システム利用料等費用の増加となる。そのため、令和5年度より料金改定を行い経営の健全化に努める。

⑥汚水処理原価
改修工事の財源には補助金や起債を活用し、単独費の支出については抑制していく。

⑦施設利用率
汚水処理は大竹市に委託しているため、利用率が0%になっている。

⑧水洗化率
排水区域内においては、すでに水洗化率は100%となっている。

2. 老朽化の状況について

管路・施設共に老朽化しており、社会資本整備総合交付金事業等を利用し改築事業を検討していく。今後は、ストックマネジメント計画に基づき、優先度が高い箇所から事業実施していく。ポンプ場施設についても管路と同様にストックマネジメント計画に基づき、設備・機器等の更新工事を検討し実施していく。

全体総括

今後は施設の老朽化により更新工事の増加が予想される。令和5年度より料金改定を実施し健全化に努める。

また、令和6年度からの企業会計移行に向け作業をおこなっているため、財政状況を確認しながら、高率の補助を適用することや起債の適用を行い、安定的な事業運営を行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。